

# 令和6年度事業報告書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

## 1 事業の成果

令和6年度は、ラクダが30年前の設立当時から取り組んできた都市交通の活性化が見えてきた1年だった。年初には2018年以来のバスの協議もほぼ決着し、路面電車駅前乗入れも本格着工した。吉備線LRT化と路面電車環状化も再起動が検討された。引き続き市議会・県議会への呼びかけ継続した。毎月の京橋朝市の出前公聴会、瓦版はコロナも収束して順調に継続した。

次回瀬戸芸に向けて、犬島アクセスバス路線については継続できたが、西大寺活性化協議会での取り組みとの連携には課題がある。しかし赤穂線沿線の瀬戸内市、備前市への都市交通としての再構築の呼びかけを契機に、全国的にも地方の都市交通の取り組みが欠如している事を鑑み、9月にはZoomメンバーの太田恒平氏を招聘して、岡山経済同友会地域振興委員会で「岡山都市交通リノベーション、車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」講演会を開催。会議所会頭など80名が参加。続いて11月には土木計画学会・東大連携で「都市交通決起集会」（参加100名、Zoom100名）を開催。学会の重鎮10名に参加いただいた。この過程でバス事業者、JR西日本、岡山国道事務所、岡山県ともネットワークを再構築した。さらに10月には衆議院総選挙主要7政党アンケートを実施、事務局を担った。全党に回答いただき、Yahoo!ニュースにもなった。

令和6年度の活動の目玉は「バスマップハンドブック」の発行である。2月の第20回全国バスマップサミット江戸川以来、Zoom会議のメンバー6人を中心に編集を開始。8月の第21回全国バスマップサミット福井に合わせて600部を発行、これをネタに、バス情報からサイン計画まで広く議論した。

Zoom会議は毎回30人以上が参加、去年は50回、コロナ後通算239回開催。全国路面電車ネットワークのプラットフォームとして機能し、千葉の快速廃止問題では一定の成果を得、JR北海道の余市・小樽間の廃止問題についても運動が広がりを見せている。またTSMC進出で渋滞問題が最大の政治課題となっている熊本の事例を共有し、岡山でのフォーラム開催に繋げた。各地の課題も積極的に議論され、地方紙・雑誌記者も参画して、数十の記事を生んだ。いわばラクダのローカルシンクタンク機能とネットワークシンクタンク機能を体現しつつある。

2023年に開業した宇都宮ライトレールは順調にまちづくり効果を出しているが、全国路面電車愛好支援団体協議会として1月に宇都宮で開催されたLRT都市サミットに併せて、第16回全国路面電車サミットを開催した。地元市民団体で主催できなく、急遽RACDAが事務局を受けて実行委員会形式で実施する事になった。開催まで3ヶ月と時間が無く、RACDAのZoom会議メンバーが分担し、事業者や国会議連の協力も頂き、国交省・宇都宮市・芳賀町の後援も受け、大成功のうちに実施できた。(1/27-28実施、懇親会107名、本会議150名) 討論テーマ・サミット宣言もすべてZoom会議で討論した。

路面電車まつりは6月に、東山会場のみ開催。10月のJR・岡電の鉄道記念日イベントにも参加した。手回し発電機による鉄道模型運転体験は、人気を呼んだ。

収益事業であるピアガー電は、使用するMOMOの故障で一度も実施出来ず、収益事業としては厳しい状況が続く。なおこれが車両問題に注目する契機になった。2002年導入のMOMO型については、既に全国に同型が普及したが、保守費用が掛かり、特に部品調達にも苦勞することが問題視され、RACDAとして「全国路面電車低床率調査」と「共同発注車両の開発提案」を実施。全国の低床電車と欧米の事例を比較し、国会議連、国交省、車両メーカーに対して問題を提起した。

会員数は67名と8名減少。正会員の高齢化による減少が大きい。一方Zoom会議には新たに全国から20代30代が10名参加するなど、ネットワーク活動の戦力は増大した。次年度はラクダゼミなどの広報活動を拡大し、会員獲得をめざしたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出金額 (千円)
公共の交通を充実させるための、公共交通をツールとしたまちづくり、公共交通の拡充・活性化、自転車の有効利用の推進、公共交通に関する調査、企画、調整、仲介等の諸事業	JR 吉備線 LRT 化推進事業	通年	JR 吉備線沿線を主とする岡山、総社市内	100 名	JR 吉備線沿線住民を主とする岡山・総社市民など不特定多数	0
	路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	通年	岡山市内	200 名	岡山市民、路面電車利用者など不特定多数	32
	吉備線路面電車直通推進事業	通年	岡山市、JR 吉備線沿線	50 名	JR 吉備線沿線住民、岡山市民など不特定多数	0
	バスマップ作成配布事業	通年	岡山市・倉敷市	50 名	岡山・倉敷市民、バス利用者など不特定多数	0
	バス停アダプト事業（バス停留所環境整備）	通年	岡山県全域	2 名	岡山県民全般など不特定多数	0
	バス活性化プラン作成事業	通年	RACDA 事務局を中心に岡山県全域	200 名	岡山県民全般など不特定多数	195
	市民向け公共交通活性化・	通年	岡山市を中心に岡山県	280 名	岡山県民全般など不特定多数	46

	交通井戸端会議		全域			
	「路面電車の日」実施事業	6/10	岡山市内路面電車沿線	50名	岡山市民全般など不特定多数	209
	ワイン電車 (車内でワイン等を提供する路面電車の運行)・ ビアガー電(車内で生ビール等を提供する路面電車の運行)等実施事業	通年	岡山市内路面電車沿線	0名	岡山市民全般など不特定多数	0
	自転車有効利用推進事業 (交通手段としての自転車の活性化、有効利用を推進する事業)	通年	岡山県全域	10名	岡山県民一般など不特定多数	0
	各地路面電車 地方鉄道 存続・電車等 保存運動支援事業	週1	全国の該当地域	1500名	該当地域住民など不特定多数	1282
地球温暖化防止に関する諸事業	岡山地区移動発生源温暖化ガス減ロードマップ立案作成事業	通年	RACDA事務局を主に岡山市内	10名	岡山県民全般など不特定多数	0